

40101鉄道・軌道業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	23 ～ 24	支所より継電器室に向かう際、交差点を進行中、信号無視してきた乗用車が左側後部座席付近に衝突し、約6m飛ばされ、頸椎捻挫、腰部挫傷、左肩関節挫傷、左肘関節挫傷、頭部外傷を負った。	25	17	231	1～ 9
2	2020	1	0 ～ 1	入庫車に便乗し、到着後、降車して合宿所へ赴く際、右足がつまずいて転倒し、右手を突き、右腕を骨折した。	54	2	419	100 ～ 299
3	2020	1	8 ～ 9	列車内運転台で、運転士携帯端末を充電のため前屈みになった際、急性腰痛症を発症した。	43	19	921	100 ～ 299
4	2020	1	16 ～ 17	台車分解組立場で、一段下がったピット横に行くために階段を下り切ったところで右足首をひねり骨折した。	42	19	413	50 ～ 99
5	2020	2	8 ～ 9	列車乗務員よりホーム上で触車の無線を傍受し、救護のため、階段を下りた際、バランスを崩し、左足をひねって左足関節捻挫を負った。	37	19	413	500 ～ 999
6	2020	2	16 ～ 17	スキー場のリフト終点降り場で、器具を用いて雪入れ作業をしていた。その際、積雪の下がアイスバーン状態であることに気付かずに転倒し、胸椎を折り、腰部を打撲した。	38	2	719	30 ～ 49
7	2020	2	16 ～	樹木伐採現場で、トラック上で桜の木を切る作業中、鎌で木の枝を切り落とした際、木の枝が飛び、左目眼球に直撃した。このとき、	19	4	712	1～ 9

			17	左外傷性虹彩炎、左前房出血、左角膜びらんを負った。				
8	2020	3	11 ～ 12	車両の交番検査を実施中、燃料フィルターを緩めて交換するため、狭い場所に潜って力を入れた際、腰から下、右側の足に痺れを感じ、腰椎分離すべり症と診断された。	58	19	921	100 ～ 299
9	2020	3	8 ～ 9	リフト試運転のため、スノーモービルに乗車し、終点駅までの作業が終了し、スノーモービルにて起点駅に帰る途中、ゲレンデの一部がアイスバーンになっていたため、低速で徐行運転をしたが、車両が左側面から横滑りとなり、草地の出ている面で横転し、左股関節打撲傷を負った。	64	2	239	50 ～ 99
10	2020	3	5 ～ 6	鉄道会社でトイレから事務室に戻る際、駅本屋1階の廊下を歩行していたところ、喫煙室の扉が開いて体の右側面に当たり、バランスを崩し、動けなくなり、左大腿骨を折った。	62	6	418	50 ～ 99
11	2020	3	11 ～ 12	地下にある事務室に向かうため、階段を下りて、最後の段から地面に着地する際、左足から着地し、右足を着いた直後に右足が滑り、バランスを崩した。その際、左足で踏ん張ったが支えきれずに左足首をひねって、左足関節外果骨折を負った。	41	19	413	50 ～ 99
12	2020	3	14 ～ 15	ロープウェイ駅舎内ピットで、階層を繋ぐはしごを下りる途中で滑り、約4m下に転落して右仙骨・右恥骨・右橈骨遠位端を折った。	25	1	371	30 ～ 49
13	2020	3	23 ～ 24	入庫車の車内清掃作業中、鉄棒に左足を掛け車両に乗る際、右足が鉄棒に引っ掛かり、車両横のピットに右足から転落した。このとき、右足関節捻挫、右距骨を折った。	25	1	418	1～ 9
14	2020	4	9 ～ 10	運搬車でゲレンデの防護ネットおよび案内看板撤収作業中、残雪のある場所で横滑りを起こし、運搬車荷台のアオリに腰を打ち付け、第3腰椎横突起骨折を負った。	56	3	227	50 ～ 99
			12	地下鉄車両基地2階通路で、荷下ろし後フォークリフトを運転中に、通路上のカラスを避けるため急旋回したとき、通路脇の側溝に				50

15	2020	4	～ 13	右後輪を取られ、フォークリフトがバランスを崩し転倒した。その際、運転席から投げ出され、フォークリフトと路面の間に右足を挟まれ、右足部開放脱臼骨折およびデグロービング損傷、右上腕骨骨幹部開放骨折、右筋皮神経麻痺を負った。	23	2	222	～ 99
16	2020	4	～ 11	10 スキー場で、リフト支柱に登り、ワイヤーとローラーの稼動を点検していた。その際、稼動中のリフトに右手を巻き込まれ、小指を切断し、中指と薬指を骨折した。	60	7	219	～ 29
17	2020	4	～ 9	8 列車から降りる客の集札中、ホームから足を踏み外して転落し、左距骨に挫傷を負い、左足を捻挫した。	51	1	417	30 ～ 49
18	2020	4	～ 20	19 乗務員詰所で待機中、喫煙所に行くため出入口から出たところ、2段階の下にある金属製の泥落とし（高さ約4cm）に足が引っ掛かって転倒し、左第5中足骨を折った。	27	2	391	50 ～ 99
19	2020	5	～ 6	5 駅構内で出区点検中に、コロナウイルス感染拡大防止措置のため、客室内窓を開ける作業中に窓が固くなっており力を入れた際に腰に痛みが走り、腰椎を捻挫した。	33	19	232	100 ～ 299
20	2020	5	～ 11	10 駅で清掃中、踏切道を横断した際、つまずき転倒した。このとき、左手関節捻挫、左膝靭帯損傷、左胸部打撲、左肋骨を折った。	69	2	417	100 ～ 299
21	2020	5	～ 20	19 車両の乗降ドアより車両上の通路に出て鎖錠し、振り向いた際バランスを崩し後方に転倒して、右足を損傷した。	60	1	232	100 ～ 299
22	2020	6	～ 10	9 運転席から降りる際、乗務員室の階段を踏み外し、足をひねるとともに左上腕部を壁にぶつけて左足関節捻挫、左上腕打撲を負った。	26	2	232	100 ～ 299
23	2020	6	～	11 駅で電車に乗り込み車掌室のドアを開けるため、両手に持っていた乗務靴、補助靴を床に下ろした際に腰全体に痛みを感じ、腰部捻	38	19	611	100 ～

31	2020	8	5 ～ 6	ロングレール交換の責任者として従事しており、現場より管理室に戻るため、国道を運転していたところ、対向車線にはみ出し、トレーラーと衝突した。その際、全身打撲を負い、頸椎損傷、出血性ショックで死亡した。	29	17	221	50 ～ 99
32	2020	8	6 ～ 7	点検の際、車両に乗り込むためドアノブを扱ったが、内側から施錠されており開かなかった。そのため、右手で手すりを握り、左手に忍鍵を持ち解錠しようとしたが鍵が固く、力を入れたところ左足がステップから外れた。このとき、体が外側に開き右手だけで手すりにぶら下がるような体勢となり右指関節を捻挫した。	42	19	232	300 ～ 499
33	2020	8	13 ～ 14	夜間作業準備中、保線支区の倉庫から作業車に資材を積み込んでいるとき、転んだ。その際、両手で資材を持っていたため膝から着地して強打し、左膝を骨折した。	54	2	416	1～ 9
34	2020	8	9 ～ 10	乗車ホームにて到着した列車の、折り返し回送扱いの対応を行っていた。当該列車は、入庫であるため車内の窓を確認したところ、約10cm開いている窓を閉めるため、車内に入り客室窓を閉めようと座席間に立った。そのとき、親指を上にして人差し指で窓上部の取っ手を掴むように両手で掴み、窓を押し上げたところ、右手に異音と違和感を覚えて骨折した。	29	19	232	50 ～ 99
35	2020	8	19 ～ 20	電車で入駅時、乗務員室扉の落とし窓から顔を出して、ホーム上の安全確認を行っていた際、右目に違和感を覚えたため検査したところ、角膜に鉄粉が刺さっていて、右眼角膜異物混入を負った。	27	4	521	100 ～ 299
36	2020	8	4 ～ 5	駅で点呼を終えてホームを歩いていた際、ホームの端に近づきすぎたため、足を踏み外して線路上に転落し、レールで左足を強打して骨折した。	38	1	417	100 ～ 299
37	2020	8	23 ～ 24	駅で、階段を下りる際、足を踏み外し踊り場まで転倒し、右顔面裂傷を負った。	64	1	413	100 ～ 299
			23	駅に停車中、車内に自転車を持ち込んだお客様対応のため、ホーム				300

38	2020	9	～ 24	に出て車内へ向かおうと、体をひねって左足を踏み出した際、強い痛みを感じ、右腓腹筋挫傷を負った。	50	19	417	～ 499
39	2020	9	16 ～ 17	車両工場ピット内で修理作業中、冷却水を注入後、水量確認のため作業台（長さ192cm幅29cm高さ64cm）に上がり、蓋を開けようと少し背伸びしたところ足が滑り、床面に転落して、左脇腹を作業台で強打し、左第6、7、8、9、10肋骨を折った。	48	1	371	1～ 9
40	2020	9	～ 16	右足首捻挫を負った。	60	19	417	100 ～ 299
41	2020	10	13 ～ 14	駅事務所のカウンターでお客様の対応をしようとしたとき、事務所の奥に設置している電話が鳴動したため、慌てて事務所の奥へ向かった。そのとき、スロープの段差（約2cm）でつまずいて左足首をひねって転倒し、左足を打撲した。	24	2	417	100 ～ 299
42	2020	10	13 ～ 14	事務室の移転作業後、椅子から立ち上がる際にテーブルの脚に左足を引っ掛けて転倒し、左膝を捻挫した。	59	2	416	100 ～ 299
43	2020	10	6 ～ 7	車庫内に留置している担当車両の車内点検完了後、運転台側の扉からステップを使用して降車した。その際、右足を地面に着地させたときに足踏み台に足が引っ掛かったことでバランスを崩し、左手で体を支えたが転倒し、左肘付近を痛打して捻挫した。	39	2	371	100 ～ 299
44	2020	11	～ 19	軽い関節痛と倦怠感があり、夜中に37.1℃発熱が出たため、PCR検査を受けたところ陽性判定となった。	25	90	911	10 ～ 29
45	2020	11	～ 19	軽いせきの症状があり、37.5℃の発熱が出たため、PCR検査を受けたところ陽性判定となった。	37	90	911	10 ～ 29
			8	車両センターに出勤し、警備室のドアを開けて玄関に入り、土間で				100

46	2020	11	9	靴を脱いで室内に入ろうとした。そのとき、床の段差につまずき転倒しそうになりながら勢いよく前に進んだところ、前方の机の角に右足親指をぶつけて骨折した。	63	3	416	～ 299
47	2020	11	9 ～ 10	車庫で休憩中、敷地内を散歩中、コンクリート製の段差を飛び越え、防草シートの上に着地した際、着地が悪く、左足を骨折した。	58	1	418	～ 299
48	2020	12	13 ～ 14	駅のホームを除雪中、点字タイルで左足を滑らせ、体勢を崩して転倒した際、右手首を骨折した。	60	2	719	30 ～ 49
49	2020	12	15 ～ 16	業務を終え、運輸区玄関の階段を上っている最中に、リングファイルが手元から落ち、それを拾おうとして階段（16段中11段目）から転落し、頭部打撲、下腿挫創、左上腕打撲傷、左手関節部打撲傷、両側下腿打撲症を負った。	34	1	413	100 ～ 299
50	2020	12	19 ～ 20	食材保管のために借りていた、クールコンテナの燃料切れの連絡が入り、コンテナ前部の操作盤の状況を確認するために、ステップから上り、確認後下りようとしたところ、足を滑らせて転倒した。その際、升目上のフレームに滑落する形で右脇、右足を強打し、左肋骨を折り、右膝捻挫を負った。	55	2	417	50 ～ 99
51	2020	12	8 ～ 9	列車の業務員室に乗り込む際、右手にマンスハンドル、左手に業務カバンを持った状態で、側開戸側面下部に右足つま先を引っ掛け、バランスを崩し、前のめりに転倒しそうになって、左足を前に出したところ、足首を外側にひねり、左踵骨を折った。	57	19	417	100 ～ 299
52	2020	12	16 ～ 17	保線班詰め所で区員全員で会議を実施した。その際にせき込んでいた1名が新型コロナウイルス感染症に罹患し、濃厚接触者としてPCR検査を実施したところ、陽性と判定され、新型コロナウイルス感染症を発症した。	46	90	911	10 ～ 29
			16	保線班詰め所で区員全員で会議を実施した。その際にせき込んでいた1名が新型コロナウイルス感染症に罹患し、濃厚接触者としてPCR				10

53	2020	12	17	検査を実施したところ、陽性と判定され、新型コロナウイルス感染症を発症した。	40	90	911	～	29
54	2020	12	17	保線班詰め所で区員全員で会議を実施した。その際にせき込んでいた1名が新型コロナウイルス感染症に罹患し、濃厚接触者としてPCR検査を実施したところ、陽性と判定され、新型コロナウイルス感染症を発症した。	38	90	911	～	29
55	2020	12	21	保線班詰め所で区員全員で会議を実施し、せき込んでいた1名が新型コロナウイルス感染症に罹患した。濃厚接触者としてPCR検査を実施したところ、陽性と判定され、新型コロナウイルス感染症を発症した。	44	90	911	～	29
56	2020	12	11	保線班詰め所で区員全員で会議を実施中、せきと若干の息苦しさを 12 感じ、PCR検査を実施したところ、陽性と判定され、新型コロナウイルス感染症を発症した。	29	90	911	～	29
57	2020	12	6	支柱の雪下ろしに向かう途中、下り坂で雪面が凍っていたので滑って転倒し、右膝を打撲した。 7	71	2	417	～	299
58	2020	12	13	不特定多数の人が出入りするスキー場施設で、シャトルバスの運転業務に従事していたところ、新型コロナウイルス感染症を発症した。 14	46	90	911	～	299
59	2020	12	4	不特定多数の人が出入りするスキー場施設で、シャトルバスの運転業務に従事していたところ、新型コロナウイルス感染症を発症した。 5	52	90	911	～	299
60	2020	12	10	スキー場内で、スキー板を履いてロープを張っていた際に転倒し、膝をひねって靭帯を損傷した。 11	54	2	719	～	49
61	2020	12	16	スキー場で、後片付け中、足が滑り転倒し、肋骨を折った。	78	2	417	～	50

			17					99
62	2020	12	6 ～ 7	定期列車の運転乗務中、運転指令により軌間内にある鹿の死骸を撤去していたところ、腰に負担が掛かり、腰椎を圧迫骨折した。	64	19	921	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。